



うどん打ち終了後、おそろいの白衣のまま縁側でリラックスする支援校生

校外学習の一環として、地元の観光地や文化的施設に親しもうと、沼田特別支援学校(角田もと江校長、児童生徒数61人)の高等部2年生7人は先月8日、南郷の曲屋でうどん打ちを体験しました。施設スタッフとの交流を楽しみながら、郷土料理や里山の食文化に触れました。

うどん打ちは小麦粉に水を足しながらよくこね、足で生地を踏んで水分を浸透させます。弾力が出た生地を製麺機にセットし、ハンドルをゆっくり回して薄く伸ばしたら、同じ機械を使って麺状にカットしました。生徒たちは熱心に作業を進め、久しぶりの料理体験にワクワクしながら取り組んでいました。土間では、スタッフが薪を燃え上がらせ、ぐつぐつと煮えた釜でうどんをゆでると、生徒たちは初めての光景に興味津々な表情で眺めていました。

生徒たちは程よいコシとツヤのあるゆで上がったうどんを、冷たいつけ汁などで食べました。竹之内孝行さんは「こねるのに力が必要で大変だった。自分たちで打ったうどんはおいしかった」と笑顔を見せました。

足踏みに製麺機 初体験にワクワク



支援校生がうどん打ち 里山の食文化に触れる



南郷の曲屋 (旧鈴木家住宅)

住所 利根町日影南郷
TEL 54-8601
開館 10:00~16:00
入場料 大人100円、中学生50円
小学生以下無料
休館日 木曜日
その他 体験は1週間前に電話で申し込み

◆組合員募集中◆

南郷の曲屋管理組合は、イベントや施設管理の手伝いをしてくれる仲間を募集しています。人生のひとときを、このゆったりとした環境の中で一緒に過ごしてみませんか。お問い合わせください。



YouTube
曲屋紹介動画



利根町
振興公社HP



火やかやぶきの匂い
五感を通して暮らしの理想像

曲屋管理組合組合長

鈴木圭子さん -利根町日影南郷-

曲屋に来たらまず、五感を通してじっくり体感してください。火やかやぶきの匂い、建物の中に風が抜ける音、太陽の光でキラキラと輝く木々などをじかに感じ、生きてきた人の暮らしを想像してみると楽しく、曲屋の歴史にも興味が湧いてくるでしょう。コロナで中止していた食の体験も少しずつ再開しています。この夏、曲屋を訪れて地元の魅力を知り、体験の喜びを味わってみませんか。



田舎暮らし満喫
地域活性の一助になりたい

地域おこし協力隊

古川実加さん -久屋原町-

沼田の豊かな自然やおもてなしの心に癒やされたことが移住の決め手でした。移住後も地域の皆さんはいつも気に掛けてくれたりと、温かい気持ちで田舎暮らしを満喫しています。通勤も楽しく、こんにやく畑などが広がる田園風景や山が迫ってくる自然の大きさに、日々心が踊っています。曲屋を訪れる人に喜んでもらえるように、地域の一助となって地域を盛り上げていきます。



1.初めて見る製麺機。薄く伸ばしてみよう 2.「楽しいね」と作業に取り掛かる 3.かまどで火起こし。ゆでる準備は万端 4.力を入れてせっせとこねる